

# KANSAI GAIDAI UNIVERSITY

Here/There と Are/Go が織りなす世界 : Here you are/Here you go/There you are/There you go  
の機能

メタデータ	言語: jpn 出版者: 関西外国語大学・関西外国語大学短期大学部 公開日: 2016-09-05 キーワード (Ja): Here, There, 促し(start), 達成(goal) キーワード (En): 作成者: 日木, くるみ, 田村, 知子 メールアドレス: 所属: 関西外国語大学, 愛知教育大学
URL	<a href="https://doi.org/10.18956/00006224">https://doi.org/10.18956/00006224</a>

## Here / There と Are / Go が織りなす世界

Here you are / Here you go / There you are / There you go の機能

日 木 くるみ  
田 村 知 子

### 要 旨

本稿の目的は、「人に物を渡すとき」に使用できる4表現 (Here you are / Here you go / There you are / There you go) の機能を明らかにすることである。

4表現の機能は、here / there で表される「促し (start) / 達成 (goal)」対立と、are / go で表される「状態 (state) / 行為 (action)」対立の組み合わせによって、規則的に生み出される。

その結果、4表現はそれぞれ以下のような機能を持つ。

Here you are	「you が “ready” な状態になるように、話者が you を促す」
Here you go	「you が次の行為をするように、話者が you を促す」
There you are	「you が話者の期待する状態に達したことを、話者が表明する」
There you go	「you が話者の期待する行為を遂げたことを、話者が表明する」

この考え方に基づけば、映画から集めた事例を説明できるだけでなく、なぜ4表現がいずれも「人に物を渡すとき」に使用できるのか、などの疑問に対しても説明を与えることができる。

本稿では、4表現の機能に関する考察を通じて、イデオムと呼ばれるものの中にも、個々の語彙の意味を組み合わせることで説明できる表現があり得ることを示唆した。

キーワード：Here、There、促し (start)、達成 (goal)

### 0. はじめに

辞書によれば、Here you are / Here you go / There you are / There you go の4つの表現 (以下、「4表現」) は、「人に物を渡すとき」に使うことができる。しかし、仮に here を「ここ」、there を「そこ」、are を「いる」、go を「行く」、と字義的に解釈すると、4表現はそれぞれ「ここにあなたがいる」、「ここにあなたが行く」、「そこにあなたがいる」、「そこにあなたが行

く」となり、「人に物を渡す」場面とはかけ離れた意味となってしまう。

この場合、副詞の *here / there* や動詞の *are / go* をどう解釈したらよいのだろうか。また、なぜ「物を渡す」のに主語が物ではなく、*you* なのか。その上、目の前にいる人に物を渡すのに、なぜ *there* を使うのか。

さらに、4 表現は違う形でありながら、なぜ同じ場面で使用できるのだろうか。同じ場面で違う表現が使えるということは、4 表現が全く同じ意味を持つということなのか、それとも意味が違うのだろうか。

本稿では、4 表現の本質的な機能の違いを明らかにし、これらの疑問に対する一貫した説明を試みたい。

## 1. 辞書などの記述

4 表現に関する研究は、我々の知る限りあまりなされていない。そのため、本節では、辞書において 4 表現がどのように記述されているかを見ていく。

まず、副詞 *here / there* について詳細な記述のある、小西（1989）の『英語基本形容詞・副詞辞典』を見てみよう。

小西によれば、*here* は基本的に「話し手が発話時にいる地点あるいはその近くの場所」を示し、一般的に「ここで [に]」を意味する。しかし、運動を示す動詞と共起すると「ここへ [に]」の意、時間的に転用されると「今、この時点で」の意、抽象的な場所を表すと「この点で」の意となる (p. 882)。一方、*there* は「話し手の領域から外れた場所」を示し、位置（「そこで [に]」）・方向（「そこへ [に]」）・時間（「その時点で」）を意味する (p. 1849)。

これらの記述から、*here* と *there* は基本的に、「話し手を基点として、話者に近い領域と離れた領域」をそれぞれ表し、互いに対立的な意味を持つことがわかる。

4 表現に関する記述をまとめたのが、下の表 1 である。

表 1 : 『英語基本形容詞・副詞辞典』における 4 表現の記述

見出し語 表現	here		there	
	<i>here you are</i>	<i>here you go</i>	<i>there you are</i>	<i>there you go</i>
定義と例文	<p>「(相手が求めている[探している]ものが) ほらここにあります」の意を表す。</p> <p>Here it is が提示された物に重点があるのに対して、Here you are では人に重点がある。</p> <p>[cf. Lakoff, Women, p.524]: “<b>Here you are</b>, madam, what you ordered, roast chicken and peas.”</p> <p>他</p> <p>Here you are は次のように相手の注意を引くときにも用いられる： ‘You say you want to go to the States in July, nut, <b>here you are</b>, it’s January already and you’ve still not got any money —you’d better start saving, my lad!</p> <p>— Manser</p>	<p>相手に物を差し出す場合には、Here you go も用いられる</p> <p>TIMMY [Handing him a beer]: <b>Here you go</b>.</p> <p>JOHN: Thanks.</p> <p>ibid.</p>	<p>There you [we] are は「さあどうぞ」「それごらん」などの意の成句： <b>There you are!</b> A nice cup of tea.</p> <p>—Ld 他</p>	<p>“<b>There you go</b>, Pierre,” he said as he put the animal on the floor next to its mate.</p> <p>—Maggin, Krypton</p>

他：スペースの都合で、他にも例文があるが載せなかったことを意味する  
4 表現は太字、斜字体にした

小西では、Here you are は、「相手が求めている（探している）ものがここにあることを示す」場合に使い、Here you go は、「相手に物を差し出す」場合に使うと記述されている。2 表現の例を見ると、いずれも「相手に食べ物を渡している」場面であり（**Here you are**, madam, what you ordered, roast chicken and peas. と、TIMMY [Handing him a beer]: **Here you go**. JOHN: Thanks.）、両者には意味の違いがないように見える。2 表現が全く同じことを意味するのか、それとも違うのかは不明である。

一方、There you are は、「さあどうぞ」「それごらん」などの意味を持つイディオムであると説明されている。この記述から、There you are をどのような状況で使ったらよいか、判断するのは難しい。例を見ると、相手に紅茶を差し出している場面のようである（**There you are!** A nice cup of tea.）。

これでは、Here you are / Here you go / There you are の例が、いずれも「相手に物を与える」場面であるとしかわからず、その意味の違いがはっきりしない。特に、Here you are と There you are に注目した場合、その違いは here と there だけである。「話し手を基点として、話者に近い領域と離れた領域」という対立の意味を持つ here と there が、いずれも「相手に物を

与える」場面で使えるのはなぜだろうか。here / there を「話し手を基点として、話者に近い領域と離れた領域」という物理的空間として解釈することには、無理があるのではないだろうか。

また、There you go では、例がひとつしかない。この一例から、There you go の使い方を理解するのは難しい。

次に、他の辞書を見てみよう。表 2 は、Oxford Advanced Learner's Dictionary (OALD) の記述をまとめたものである。

表 2 : OALD における 4 表現の記述

見出し語	here		there
表現	<i>here you are</i>	<i>here you go</i>	<i>there you are</i> (also <i>there you go</i> )
定義と例文	(informal) used when you are giving sth to sb: • <b>Here you are.</b> <i>This is what you were asking for.</i>	(informal) used when you are giving sth to sb: • <b>Here you go.</b> <i>Four copies, is that right?</i>	(informal) 1 used when giving sb a thing they want or have asked for: • <b>There you are!</b> <i>that'll be £3.80, please.</i> • <b>OK, there you go.</b> 2 used when explaining or showing sth to sb: • <b>You switch on, push in the disk and there you are!</b> • <b>There you are!</b> <i>I told you it was easy!</i> 3 used when you are talking about sth that happens in a typical way or about a situation that cannot be changed: • <b>There you go!</b> <i>that's what they're like.</i> • <b>I know it's not ideal but there you go ...</b>

1 表現は太字、斜字体にした

OALD における 4 表現は、いずれもイディオムとして説明されている。(ただし、There you are については、there の語義 5 《used to attract sb's attention》の例文としても挙げられている。)

まず特徴的なのは、*Here you are* と *Here you go* の定義文が同一であり (used when you are giving sth to sb)、2 表現の違いについては述べられていないという点である。形から見ると、*Here you are* と *Here you go* では、are と go という異なる動詞が使われている。にも拘わらず、2 表現はともに、「人に物を渡す」場面で使えるのだという。このことを説明するには、are と go を、それぞれどのように解釈したらよいのだろうか。

there を含む 2 表現も、*there you are* (also *there you go*) として初めから同一視されており、

その違いを明らかにする情報はない。ここでも、are と go をどう解釈するかという疑問が残る。

さらに、here の 2 表現に関する記述と、there の 2 表現の記述を比較すると、意味的に極めて似ている点があるとわかる。here の 2 表現の定義は ‘used when you are giving sth to sb’、there の 2 表現の定義 1 は ‘used when giving sb a thing they want or have asked for’ と記述されている。つまり、「人に何かを与える」時、4 表現が使用できると理解してよいだろう。

here 表現と there 表現の違いは、後者の場合、どのような物を与えるかについて、‘a thing they want or have asked for’ と限定している点である。しかし、Here you are の例文を見ると、“*Here you are. This is what you were asking for*” とあり、これはまさしく頼んだ物を示している。そうなると、4 表現における here と there の違いもわからなくなってくる。

このように OALD の記述においても、4 表現に違いがあるのかどうか、また、here / there、are / go をどう解釈するかという疑問が残る。

最後に、英和辞典を見てみよう。我々が調べた英和辞典の中で、4 表現に対してそれぞれの項目を設け、最も丁寧な説明を行っていたのは、『ウィズダム英和辞典』である（表 3）。Here you go の定義は Here you are と同一であり、2 表現とも「相手に物を差し出すとき」に使用できると記述されている。are と go の違いをどのように解釈するか、その点についての情報はやはり得られない。

There you go の定義 (1) を見ると、こちらも There you are と同一の定義になっており、「人に物を渡すときや何かをしてあげたときに言う」とある。are と go の違いについても、何も述べられていない。

前述の OALD と同様、『ウィズダム』でも、Here you are / go と There you are / go は共通して「人に物を渡すとき」に使えるということになるが、ここでも、here / there の意味の違いをどう捉えたらよいかかわからない。眼前の相手に物を渡すときに使われる there が、物理的空間（話者からの遠さ）の意味で使われているとは考えにくい。

表 3 : 『ウィズダム英和辞典』における 4 表現の記述

見出し語 表現	here		there	
	<i>here you are</i>	<i>here you go</i>	<i>there you are</i>	<i>there you go</i>
定義と例文	(話) (1) はいどうぞ、はいここに あります 《1》相手に物を差し出す ときの表現; Here だけでも 同意 《2》 <i>Here you are</i> では 相手に重点が置かれ、 Here it is では差し出す 物に重点が置かれる	(話)= <i>Here you are</i> (1)	(1) さあ、どうぞ; ほか、 そこにあります (人に物を渡すときや何かを してあげたときに言う)	(くだけた話) (1)= <i>There you are</i> (1)
	(2) (探していた人が) あっ、 ここにいた		(2) (そういう事情なので) 仕 方がない (通例 <i>but</i> の後で)	
	(3) いいですか (人の注意を 引く)		(3) ほらごらんなさい、だから 言ったでしょう (強調表現; 通 例 <i>but</i> の後で) (4) それで終わり (大丈夫) だ そうです (説明・指示を終える ときに言う: しばしば <i>and</i> の 後で) (5) あなたはそこにいたん ですね	(2)= <i>There you are</i> (3) (3) <i>There you go again</i> = <i>There A go again</i> (4) それでいいんだ; その調子

4 表現は太字、斜字体にした

以上、辞書の記述を総合すると、4 表現が「相手に物を差し出す」場面で使えることは明らかである。しかし、4 表現のあいだに意味の違いはあるのか、あるとしたらそれは何なのか、また、その場合の here / there 及び are / go をいかに解釈すればよいのか、などの疑問が残る。

次の第 2 節では、これらの疑問に答えるために、4 表現の機能についての仮説を提示する。第 3 節では、Here you are / Here you go / There you are / There you go それぞれの表現について、用例と照らし合わせながら仮説の検証を行い、第 4 節では、我々の仮説が導く利点について、さらに述べていきたい。

## 2. 4 表現の機能

前節で述べたように、4 表現の違いは、物理的空間（「話者に近い領域、遠い領域」）を意味する here / there では説明がつかない。

では、どのように考えれば、その違いを明確にすることができるのだろうか。

4 表現、Here you are / Here you go / There you are / There you go に不変の要素（定数）は、you である。you はこれらの表現において、主語であり、同時に聞き手でもある。一方、4 表

現の中の変要素（変数）は、副詞（here / there）と動詞（are / go）である。

この事実から導き出されるのは、4 表現の違いを生み出すものが、you ではなく、here / there と are / go の組み合わせだという点である。すなわち、4 表現は、here / there と are / go を組み合わせて、you（聞き手）に関する「何か」を伝える表現なのである。では、you について、いったい「何」を伝えるのだろうか。

here は「促し（START）」、there は「達成（GOAL）」を意味し、be 動詞は「状態（STATE）」、動詞 go は「行為（ACTION）」を意味すると、本稿では仮定する。「促し（START） / 達成（GOAL）」対立の here / there は、「状態（STATE） / 行為（ACTION）」対立の are / go と組み合わせると、you に関する、それぞれ異なった情報を示す。

我々が考える各表現の機能をまとめたものが、下の表 4 である。

表 4：4 表現の機能

		動 詞	
		<i>are</i> you の状態 (STATE)	<i>go</i> you の行為 (ACTION)
副 詞	<b>here</b> 促し (START)	① <b>Here you are.</b> you が “ready” な状態になるように、話者が you を促す	② <b>Here you go.</b> you が次の行為をするように、話者が you を促す
	<b>there</b> 達成 (GOAL)	③ <b>There you are.</b> you が話者の期待する状態に達したことを、話者が表明する	④ <b>There you go.</b> you が話者の期待する行為を遂げたことを、話者が表明する

①の Here you are は、here と are の組み合わせである。上記の考えに沿って、「促し」(here) と「状態」(are) の意味を合わせれば、「you が “ready” な状態になるように、話者が you を促す」機能をもつ表現になる。

②の Here you go は、「促し」(here) と「行為」(go) が組み合わせられた表現である。したがって、「you が次の行為をするように、話者が you を促す」機能を持つ。ここで、「次の行為」とは、Here you go が発話されたすぐ後で you が行うであろう行為のことを示し、どんな行為であるかは、状況の中で決まってくる。この、「次の行為」については、3 節で具体例を挙げながら説明していきたい。

③の There you are は、「達成」(there) と「状態」(are) の組み合わせであり、「you が話者の期待する状態に達したことを、話者が表明する」表現になる。

④の There you go は、「達成」(there) と「行為」(go) が組み合わせられ、「you が話者の期待する行為を遂げたことを、話者が表明する」表現となる。

以上のように、4 表現はそれぞれ独自の機能を持っており、これらは、here / there で表される「促し (START) / 達成 (GOAL)」対立と、are / go で表される「状態 (STATE) / 行

為 (ACTION)」対立の組み合わせによって、規則的に生み出される。

Here you are / Here you go に共通する機能は、「話者が you を促す」ことであり、There you are / There you go に共通する機能は、「話者の期待が達成したことを表明する」ことである。

次の節では、上で仮定した4表現の機能の違いを、具体例を挙げながら順に検証していこう。

### 3. 映画における4表現の使用例

我々は、4表現の機能の違いを確認するために、映画における使用例を集めた。その理由は、各表現が使われる具体的な状況を、文字だけでなく、映像を見ながら細部に至るまで観察することが可能なためである。

当該表現は太字の斜字体で表し、映画のタイトルは各用例の後に明記した。また、会話中の綴りは台本にあるとおりである。

#### 3. 1. Here you are

まず始めに、here you are の事例を二つ見てみよう。

(1) は、父親 (MR.TYSON) と娘 (ELIZABETH) の会話である。

- (1) ELIZABETH :Father, where's the list?  
MR. TYSON :Oh, **here you are**, darling.  
ELIZABETH :Would you like to see the invitation list?  
MR.TYSON :16,749 under trust in Illinois. 550...

——『麗しのサブリナ』

MR.TYSON は ELIZABETH にリストを渡しながらか、Here you are と言っている。これは、MR.TYSON が娘に対し、リストを渡すから受け取る準備をするようにと、促しているのだと考えられる。

(2) は、銀行員 (FERGUSON) が客 (ODA MAE) に小切手を渡しながらか発話している場面である。途中に出てくる MOLLY というのは、銀行の同じフロアに居合わせた別の客である。

- (2) FERGUSON :The, uh, check. This, uh... **Here you are.**  
(ここで場面が変わり、MOLLY が別の銀行員と話している様子が画面に映し出される。)

OFFICE WORKER :The person you need to see is right down at the end, okay?

MOLLY :Okay, thanks.

(再び、ODA MAE が小切手を受け取った場面に戻る)

ODA MAE :Mama took the money that she made in the oil wells and she sunk it into gas pumps.

——『ゴースト』

小切手がかかなりの額であるため、FERGUSON はためらいがちに渡しながら、受け取る準備をするよう ODA MAE を促していると考えられる。

上記の二例では、「人に物を渡すとき」に Here you are が使われている。この場合、Here you are の本質的な機能が、「人に物を渡すこと」ではなく、「you が“ready”な状態になるように、話者が you を促すこと」であると考えれば、Here you are が「人に物を渡す」場面で使われる理由も、理解できる。

### 3. 2. Here you go

次は、Here you go の例を二つ紹介しよう。

(3) は、離婚した夫婦の会話である。

(3) DANIEL :I have a right as their father. Please?

MIRANDA :All right, all right. **Here you go**. Anything else you want to see?

DANIEL :Are you offering?

MIRANDA :Not anymore.

——『ミセス・ダウト』

DANIEL と MIRANDA のあいだには、子供が三人いる。子供たちは皆、経済的な理由から、妻の MIRANDA の側に引き取られている。働く母親である MIRANDA は、子供たちのために家政婦を雇おうと考えている。その広告文を、元夫の DANIEL がぜひ見せてほしいとねだったため、根負けした彼女が、しぶしぶそれを彼に渡す場面である。

ここで DANIEL は MIRANDA に、十分に注意を向けているので、MIRANDA は Here you are と発して、DANIEL に受け取る準備を促す必要がない。そこで彼女は Here you go を使って、「仕方ないわね。見せてあげるから読みなさい」と、DANIEL に次の行為を促しているのである。

(4) は、ダブルデートをした二組のカップルが、車に乗る場面である。

- (4) ALLIE :Wait for me.  
SARA :What happened in that movie?  
FIN :**Here you go.**  
SARA :Thank you.  
FIN :What are you guys doing?  
NOAH :Want to walk with me?

——『きみに読む物語』

FIN と SARA, NOAH と ALLIE は映画館から出てきて、FIN の車に乗ろうとしている。FIN は車のドアをガールフレンド SARA のために開けて、Here you go と言う。ここで、「話者 (FIN) が主語 (SARA) を、車に乗るように促している」と考えれば、この場面での Here you go の使用が無理なく理解できる。日本語では「さあ、乗って」ぐらいの意味になるだろう。促された SARA は、Thank you と答えて車に乗り込む。Here you go の機能がよく出ている例である。

以上、二つの例で見たように、Here you go の本質的な機能は、「you の次の行為を促すこと」という点にある。そうとらえれば、この表現が、「人に物を渡す」場面や「車に乗せる」場面で使われていることが、自然に説明できる。

### 3. 3. There you are

There you are の例は、多彩である。まずは、(5) から見てみよう。

- (5) LOUISA :Anthony, **there you are.** Where have you been?  
COMMANDER :I...  
LOUISA :You know, you've missed dinner.

——『ゴスフォードパーク』

(5) で LOUISA は COMMANDER を探しており、彼を見つけて There you are と発話している。相手を目の前にして発話している状況であるにもかかわらず、なぜ there が使えるのだろうか。

ここでの there は、「(話者が期待する状態の) 達成」を意味すると考えられる。つまり、LOUISA が望んだ、you (すなわち COMMANDER) が目の前にいる状態が、達せられたことを示している。だから、相手を目の前にしていても、There を使った発話が可能なのである。

(6) は、長く会っていなかった二人が、再会を果たす場面である。

- (6) MISS STACY :Anne? Anne Shirley! **Oh, there you are!**  
ANNE :Oh, Miss Stacey! It feels like decades!  
MISS STACY :Oh, up all night on that dreadful train.

——『続・赤毛のアン』

MISS STACY と ANNE は、駅で待ち合わせをしている。二人が会った場面で、MISS STACY が ANNE に向かって発話し、日本語訳では「よく来たわね」となっている。この状況でも、「話者の期待する状態」は「主語（聞き手）が目の前にいる状態」であり、その状態が達成されたときに There you are が発話されている。

(7) は、「相手に物を渡すとき」の例である。

- (7) BUDDY :Southern Comfort on the rocks.  
MICHAEL :Make that two.  
BARTENDER :Okay. You bet.  
MICHAEL :I'll be right back. I gotta lock my car.  
BARTENDER :**There you are. There you are.**  
BUDDY :Cigarette? What was that?

——『ウーマン・イン・レッド』

盲人のふりをした BUDDY が、友人 MICHAEL に手を取られてバーに入ってくる。飲み物を頼んだ後、MICHAEL は車をロックしてくると言ってその場を立ち去る。残された BUDDY の前にはコップがすでに出されており、そのコップにお酒を注ぎながら、バーテンダーが There you are と発話している。

バーテンダーはこの表現を用いることで、「話者（バーテンダー）の期待する状態」は「盲人の客がお酒を飲める状態」であり、その状態が達せられたことを表明している。これに対応する日本語訳は、「飲める状態になりましたよ」などであろう。

(8) は、母親の DIANA が自分の赤ん坊を、他人に抱かせようとする場面である。

- (8) DIANA :Never held a baby? Don't be silly.  
BROOKE :I'm afraid of it'd go to pieces in my arms.  
ANNE :**There you are.** He's taken with you, Katherine. Oh! It feels so good to see you dear folk again.

——『続・赤毛のアン』

BROOKE は一度も赤ん坊を抱いた事が無いため、DIANA の申し出に躊躇している。そんな BROOKE に DIANA は赤ん坊を抱かせる。BROOKE がその腕に赤ん坊を抱いたのを見て、傍にいた ANNE が *There you are* と発話する。日本語訳では、「ほら抱けたじゃない」に相当するだろう。

ここで、「話者の期待する状態」が、「主語（聞き手）が赤ん坊を抱いた状態」であると考えれば、その状態が達成されたときに発話しているのがよくわかる。

(9) は、ビルの警備員と不審者の会話である。

(9) GUARD :Nobody called it down to me. I'm gonna have to see a work order.

HOWARD :Yeah, just a second. ***There you are.*** Nothing personal.

——『スピード』

犯罪者 HOWARD が、ビルの地下で爆弾を仕掛けている。HOWARD を見つけた警備員は不審に思い、作業許可証を見せるように要求する。HOWARD は書類のような紙を見せると同時に *There you are* といい、隠していたナイフで警備員を刺す。

ここで、「話者の期待する状態」は、「主語（聞き手）が作業許可証を見せられた状態」と考えられる。そして HOWARD は、*Here you are* ではなく *There you are* を使うことで、「ほら、お望みの作業許可証だよ、ちゃんと見せたからな。」という意味合いを、自らのセリフに込めているのである。

以上、(5) ～ (9) のいずれの場面においても、相手を目の前にして話者が *there* を使っている。*there* が「話者から離れた場所」を意味すると考える限り、この現象は説明がつかない。しかし、「話者が期待する goal」を意味すると考えれば、説明が可能である。

例をみると、「話者が期待する goal」はさまざまである。しかし、どの例でも共通して「話者の期待する goal」が達成されており、その達成を話者が表明している。このように、*There you are* の機能を、「you が話者の期待する状態に達したことを、話者が表明する」ことだと考えると、この表現の多様な場面での使用もすべて説明できる。

### 3. 4 *There you go*

最後に、*There you go* の例をいくつか挙げてみよう。

(10) は、パーカウンターでの会話である。

(10) ERIN :Matt, can I get that coffee to go?

MATT :Sure thing.

CHARLES :I feel like I can talk to you too, like you're the type of person I could say anything to.

MATT :***There you go.***

ERIN :Great. What do I owe you?

MATT :There's no charge.

——『エリン・プロコビッチ』

ERIN は、バーのカウンター内で働いている MATT にコーヒーを頼む。ERIN がコーヒーを待つ間、CHARLES が ERIN に話しかけてくる。そのとき、MATT は入れたばかりのコーヒーを ERIN に渡ししながら、There you go と言っている。

ここで MATT は、There you go を使うことによって、「あなたはコーヒーを受け取る行為をしたよ（達成したよ）」と、主語の行為達成をクローズアップしている。Here you are / Here you go / There you are も使用可能だと思われるが、Here you are なら「ちょっと、注意を向けて」、Here you go なら「コーヒーを持って行って（又はコーヒーを飲んで）」、There you are なら「コーヒーを持っている状態になったよ」などと、微妙なニュアンスの違いが出てくる。

次の(11)は、前出の(3)と同様、コメディ映画『ミセスダウト』からの例である。家政婦 MRS.DOUBTFIRE に扮する DANIEL の自宅を、MRS. SELLNER が突然訪ねてくる。MRS. SELLNER は DANIEL の正体を知らない。彼女が突然訪問してきたために、DANIEL は変装の準備がまったくできていない。

窮地に陥った DANIEL は、姿を見せず奥にひっこんだまま、声のみで MRS.DOUBTFIRE を演じ始める。

(11) MRS. SELLNER :Miss Hillard?

DANIEL : (as MRS.DOUBTFIRE) Yes, dear?

MRS. SELLNER :I take sugar in my tea.

DANIEL : (as MRS.DOUBTFIRE) Oh, your tea! Oh, your tea, your tea! I'll be right there with your tea! It's coming right up, dear! Sugar. One lump or two, dear?

MRS. SELLNER :Two, please.

DANIEL : (as MRS.DOUBTFIRE) Tea! Sugar! Hot water! You got it! Oh, dear! I'll be coming right your way, dear! Be right there with your tea!

(ここでいったん場面が変わる。MRS.DOUBTFIRE に変装するためのマスクを失くしてしまっただANIEL は、MRS. SELLNER に正体を見破られないよう、ケーキのホイップクリームを自分の顔に塗ってごまかそうとする。次の場面で、DANIEL は MRS. SELLNER の前に現れ、顔のクリームは美容のためだと MRS. SELLNER に説明しはじめる。)

MRS.DOUBTFIRE :This is my nightly meringue mask. Part of my beauty regimen. What it is, is basically egg whites, crème fraîche, powdered sugar, vanilla, and a little touch of alum. ①*There you go*, dear. Oh, ②*there you go*. You've got your cream and your sugar now. It's a little cappuccino. One drop or two? Would you like another one? Oh, ③*there you go*. As you can see, I can't stay with you, dear. I'm melting like a snowcone in Phoenix. There we go again!

——『ミセスダウト』

テーブルの上には、ティーバッグが入ったマグカップが2つ載っている。MRS. SELLNER は、紅茶に砂糖を2つ入れて欲しいと頼んでいる。

①と②の *There you go* は、MRS.DOUBTFIRE の顔に厚く塗られたホイップクリームが、一滴ぽとんと落ちて、カップの中に入った直後のセリフである。③の *There you go* は、MRS.DOUBTFIRE の顔から、クリームが再度カップに落ちた直後のセリフである。

①と②の前に、MRS.DOUBTFIRE は、自分の顔に塗ったクリームには砂糖が入っている (What it is, is basically egg whites, crème fraîche, powdered sugar, vanilla, and a little touch of alum 《下線は筆者》) と説明している。話者 (MRS.DOUBTFIRE) はこの時点で、MRS. SELLNER から砂糖を入れてくれと頼まれていたので、MRS. SELLNER が砂糖入り紅茶を受け取れることを期待している。そのため、期待が達せられた瞬間、*There you go* と言うのである。

①～③を日本語に訳せば、「入っちゃったわ」などになるだろう。しかし、その本質的な意味合いは、「私の期待通りに、あなたは砂糖入り紅茶を受け取ったのよ」である。

(12) は、軍人の STEVEN と、その恋人で子持ちの JASMINE との会話である。

(12) STEVEN :Look, um... Why don't you get some things packed and you and Dylan come stay with me on the base.

And you will see that there is nothing to be scared of.

JASMINE :Really? You don't mind?

STEVEN :Well, I mean, I will have to let all my other girlfriends know that they can't come over, you know, and I got to postpone a little freaky weekend.

JASMINE :**There you go.** There he goes. Thinkin' you're all that. But you are not as charming as you think you are, sir.

——『インディペンデンス・デイ』

STEVEN は JASMINE に、彼女の子供を連れて自分の基地に泊りにきたらどうかと誘っている。JASMINE が本当にそうしてもよいのかと確認すると、STEVEN は、自分が女性にもてているんだ (Well, I mean, I will have to let all my other girlfriends know that they can't come over, you know, and I got to postpone a little freaky weekend.) と、冗談めかして述べる。それを聞いた JASMINE が、There you go と返す。

この場面での「話者の期待する行為」とは、「STEVEN がいつも言うことを、再度言う行為」である。話者 (JASMINE) の期待通りに STEVEN (主語) が発言したからこそ、話者は There you go と言っているのである。

次の例は、相手と握手をしようとする際のセリフである。

(13) MESSINGER :Come on. Give me your hand. Put it in mine. ①**There you go.** A little tighter. Tighter. ②**There you go,** yeah. No.... no that's too much. Too much there. ③**There you go.**

——『シティ・オブ・エンジェル』

MESSINGER はかつて天使であったが、地上に飛び降りて人間となった。彼は天使である SESS と出会い、自己紹介だと言って、手を差し出し握手をしようとする。SESS は天使なので人間のような感覚がなく、握手をするのも初めてである。

MESSINGER の要求に応じて SESS が握手したとき、MESSINGER は①の There you go を発する。次に、もう少し強く握れという要求に応じて SESS が強く握ると、彼は②の同表現を繰り返す。しかし、SESS が強く手を握りすぎるので、MESSINGER はきつすぎると訴える。そこで SESS が少し握力を弱めると、MESSINGER は③を口にする。

①～③は、「you が話者の期待する行為を遂げたことを表す」There you go の機能を、よく表している例だといえる。

最後の例は、レストランに押し入った強盗との会話である。

(14) JULES :We still just talkin'. Come on point the gun at me. Point the gun at me!  
**There you go.** Now, Vincent you just hang back and don't do a goddamn  
thing. Tell her we're still cool.

PUMPKIN :We're still cool.

——『パルプフィクション』

JULES はレストランにおり、強盗が客に銃を向けている。客が全員床に伏せる中、JULES はカウンターの上にいる犯人に向かって、銃を他の客ではなく自分に向けろと説く。犯人が銃を JULES に向けた時点で、JULES は *There you go* と言っている。

ここで「話者 (JULES) の期待する行為」は、「犯人が自分に銃を向けること」であり、その行為が遂げられた時点で、話者は *There you go* を使っているのである。

以上、五つの例で見たように、*There you go* は「人に物を渡す」場面や「相手がいつもの冗談を言った」場面、「相手が銃を向けた」場面など、様々な場面で使用されている。しかし、いずれの場合も、*there* が「話者が期待する goal」を意味していると考えれば、容易に説明することが可能である。

#### 4. 仮説の妥当性

2 節と 3 節では、4 表現がそれぞれ異なる機能を持つことを明らかにした。本節では、前述の仮説を適用することによって、冒頭に挙げた疑問に答えるだけでなく、*there* 表現の多様な使用に対する効率的な説明も得られることを、述べていきたい。

本稿のはじめに挙げた疑問点は、次の 5 つであった。

- ① 4 表現が「人に物を渡すとき」に使われる場合、副詞の *here / there* や動詞の *are / go* をどう解釈したらよいか。
- ② 「物を渡す」のに、なぜ主語が物ではなく *you* なのか。
- ③ 目の前にいる人に物を渡すのに、なぜ *there* を使うのか。
- ④ 4 表現は違う形でありながら、なぜ同じ場面で使用できるのか。
- ⑤ 4 表現の意味に違いがあるとしたら、それは何か。

以下では、我々の仮説がこれらの疑問に対し、どのように説明を与えるのかをみていくことにする。

**疑問①：4表現が「人に物を渡すとき」に使われる場合、副詞の here / there や動詞の are / go をどう解釈したらよいのか。**

2節で述べたように、我々は、here / there を字義的には捉えず、「促し (START)」/「達成 (GOAL)」の意味を持つと解釈し、are / go に対しては、「状態 (STATE)」/「行為 (ACTION)」の解釈を与えた。そして、これらの here / there と are / go が組み合わされることによって、独自の機能を持つ4つの表現が生まれると結論づけた。

このような考え方に従えば、4表現の各機能の違いを明らかにすることができ、また、3節で見たような用例に対しても、一貫した説明を行うことができる。4表現が「人に物を渡すとき」に使われる場合の、意味合いの違いについては、疑問④の項目で説明したい。

**疑問②：「物を渡す」のに、なぜ主語が物ではなく you なのか。**

この疑問は、4表現が「人に物を渡す」ための表現だという前提のもとで、出てきた疑問である。つまり、「物を渡す」ための表現なのに、なぜ「渡す物」が主語にならず、you が主語になるのかという疑問であった。

ところが、すでに述べたように、4表現の本質的機能とは「物を渡すこと」ではない。here の2表現においては、「話者が you を促す」機能を持ち、there の2表現においては、「you の達成を話者が表明する」機能をもつと考えれば、いずれの表現でも、話者の視点は you に注がれている。そう考えれば、you が主語になるのは、極めて自然なことなのである。

**疑問③：目の前にいる人に物を渡すのに、なぜ there を使うのか。**

There you are / There you go で使用される there は、「話者から離れた領域」の意味を持っているのではない。「達成 (GOAL)」を意味していると考えれば、目の前にいる相手に使っても不思議ではない。

**疑問④：4表現は違う形でありながら、なぜ同じ場面で使用できるのか。**

同じ「人に物を渡す」という場面で4表現が使えても、その目的はさまざまである。相手に何かを促すために言う (here の2表現) ときもあれば、達成を表明するために言う (there の2表現) ときもある。

例えば、ホテルのクラークが客に鍵を与える状況を考えてみよう。こちらに注意を向けさせたいとき (客に、受け取る状態になってくれと促すとき) は、Here you are が適しているが、「さあ、(受け取ってから) 部屋に行ってください」と、次の行為を促したいときには、Here you go が合う。「私の期待通りに、あなたは鍵を持った状態ですよ」などという意味合いのときは、There you are が使われるだろうし、「私の期待通りに、あなたは鍵を渡されましたよ」

の意味合いのときには、**There you go** と言うだろう。

このように、「物を渡す」という同じ場面でも、話者が焦点を当てている部分が違っているため、4表現がそれぞれ使えるのである。

**疑問⑤：4表現の意味の違いがあるとしたら、それは何か。**

4表現は各々、以下のような独自の機能を持つ。

**Here you are**    you が “ready” な状態になるように、話者が you を促す

**Here you go**    you が次の行為をするように、話者が you を促す

**There you are**    you が話者の期待する状態に達したことを話者が表明する

**There you go**    you が話者の期待する行為を遂げたことを話者が表明する

最後に、我々の説を用いれば、多様な場面における **There you are** / **There you go** の使用が、効率的に説明できるということを、付け加えておきたい。

1節で見たように、辞書では **There you are** / **There you go** の2表現に、多様な場面や日本語訳が対応していた。例えば、OALD では3つの使用場面が、『ウィズダム英和辞典』では、**There you are** に5つ、**There you go** に4つの日本語訳がそれぞれ対応していた。

事実、本稿の3節で扱った例でも、**there** の2表現は多様な場面で使われていた。例えば **There you are** には、探している相手を見つけた場面 (5)、長い間会っていない相手に会った場面 (6)、酒を注いだ場面 (7)、相手が赤ん坊を抱いた場面 (8)、作業許可証を相手に見せた場面 (9) などの例がみられた。

これらの場面における **There you are** は、数多くの日本語訳に対応している。しかし、我々の説に基づけば、(5) から (9) のような多彩な場面における **There you are** の使用例が、簡潔に説明できる。

また、**There you go** も、相手にコーヒーを渡す場面 (10)、顔からクリームが落ちて紅茶に入る場面 (11)、相手がいつも言うことを再度言った場面 (12)、握手をする場面 (13)、相手が自分に銃を向けた場面 (14) と、いろいろな場面で使われていた。これらの例も、**There** と **go** が組み合わさり、**There you go** が「you が話者の期待する行為を遂げたことを、話者が表明する」機能を持つと理解すれば、いずれも無駄なく説明できる。

このように、効率性という観点から見ても、我々の説明は従来の辞書の記述に比べて、大きな利点があるといえる。

## 5. まとめ

本稿では、4表現の機能はそれぞれ異なるということを主張してきた。その機能は、here / there で表される「促し (start) / 達成 (goal)」対立と、are / go で表される「状態 (state) / 行為 (action)」対立が組み合わさって、規則的に生み出されるものであった。

この4表現は、一般的にはイディオムとみなされており、イディオムの意味は、それを構成している個々の語彙の意味を組み合わせただけでは、説明できないと考えられている。しかし本稿では、イディオムと呼ばれるものの中にも、個々の語彙の意味を組み合わせて説明できる表現があり得ることを示唆した。

また、今回提示した考え方は、言語学習者にとって有益な知識を与えることになるのではないだろうか。イディオム学習では、「こういうものだから覚えなさい」と暗記させられることが多い。

辞書などでは、使用できる場面が記述されており、これは、すでに使われている表現の意味などを調べる際には、かなり役立つ。しかし、特定の表現がどのように使えるかを、学習者が知りたいとき、辞書編纂者がその要求に応じて、現実世界で起こりうる全ての使用場面を網羅して記述するのは、不可能である。限られた紙面の中で紹介できるのは、そのうちの、ほんの数場面に過ぎない。

だが、学習者に対して、そういった表現の本質的な機能を明示することができれば、彼らはその機能をどの場面に当てはめればよいか、応用力を働かせながらその都度判断することができる。

本稿では、Here you are / Here you go / There you are / There you go の4表現を扱った。これらの表現はいずれも、主語として you 以外に、I / we / he / she / it / they をとることが可能である。つまり、Here X are / go と There X are / go 型には、今回の4表現以外にも、24の表現が別に存在するのである。今後の我々の課題は、これらすべての表現の持つ機能に対し、一貫した説明を行っていくことであろう。

## References

*Oxford Advanced Learner's Dictionary 7th edition.* Oxford University Press, 2005.

井上永幸・赤野一郎 (編) 『ウィズダム英和辞典』三省堂, 2003.

小西友七編 『英語基本形容詞・副詞辞典』研究社出版, 1989.

使用した映画：

『インディペンデンス・デイ』(1998) Twentieth Century Fox Film Corporation.

- 『麗しのサブリーナ』(1954) Paramount Pictures.  
『ウーマン・イン・レッド』(1984) Orion Pictures Corporation.  
『エリン・ブローコビッチ』(2000) Columbia Pictures Industries, Inc. & Universal Studios.  
『きみに読む物語』(2004) MMV New Line Home Entertainment, Inc.  
『ゴースト』(2003) Paramount Pictures.  
『ゴスフォードパーク』(2003) Universal Studios.  
『シティ・オブ・エンジェル』(1998) Warner Bros., Monarchy Enterprises B.V. and Regency Entertainment (USA), Inc.  
『スピード』(1994) Twentieth Century Fox Film Corporation.  
『続・赤毛のアン』(2000) Sullivan Entertainment.  
『パルプフィクション』(1994) Miramax Film Corp.  
『ミセス・ダウト』(1996) Twentieth Century Fox Film Corporation.

(ひき・くるみ 国際言語学部教授)

(たむら・ともこ 愛知教育大学非常勤講師)